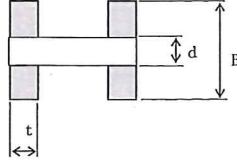
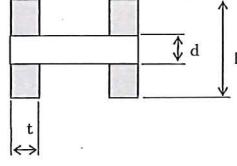


鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）平成21年3月制定【発行 平成21年11月】正誤表

(平成22年12月)

ページ	誤	正
P 146 6行目 式 (3.8.7-3)	<p>b) ラック棒の断面性能 一例としてピンラック式のラック棒の断面性能を求める。 ・断面二次モーメント</p> $I = 1/12 \times t \times (\underline{B^2 - d^2}) \times 2 \quad \dots \dots \dots \quad (3.8.7-3)$ <p>ここに、I : ラック棒の断面二次モーメント (cm^4) t : ラック棒の板厚 (cm) B : ラック棒の幅 (cm) d : ラックピンの直径 (cm)</p>  <p>図 3.8.7-5 ラック棒の断面</p>	<p>b) ラック棒の断面性能 一例としてピンラック式のラック棒の断面性能を求める。 ・断面二次モーメント</p> $I = 1/12 \times t \times (\underline{B^3 - d^3}) \times 2 \quad \dots \dots \dots \quad (3.8.7-3)$ <p>ここに、I : ラック棒の断面二次モーメント (cm^4) t : ラック棒の板厚 (cm) B : ラック棒の幅 (cm) d : ラックピンの直径 (cm)</p>  <p>図 3.8.7-5 ラック棒の断面</p>

鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）改訂版（平成 21 年 11 月発行）

正誤表

R3.5 追加分

ページ	誤	正
P484	<p>式(8.2.3-3)</p> $f_n = \frac{\alpha}{2} \cdot \sqrt{\frac{E \cdot I \cdot g}{W \cdot L^3}}$ <p>ここに、α : スクリーンバーの支持状態による係数 図 8.2.3-4 (a) の場合 : 9.87 図 8.2.3-4 (b) の場合 : 22.7 E : 弹性係数 (N/mm²) I : 断面二次モーメント (mm⁴)</p>	<p>式(8.2.3-3)を以下のように訂正</p> $f_n = \frac{\alpha}{2\pi} \cdot \sqrt{\frac{E \cdot I \cdot g}{W \cdot L^3}}$ <p>ここに、α : スクリーンバーの支持状態による係数 図 8.2.3-4 (a) の場合 : 9.87 図 8.2.3-4 (b) の場合 : 22.7 E : 弹性係数 (N/mm²) I : 断面二次モーメント (mm⁴)</p>